いいばます 議会だより



秋風をきって

〈9月定例会〉	
26年度決算審査	
将来につながる事業 ――	p2·3
9人が町政を問う	p12 -> 2
町民の声を議会に招福ひょっとこ	p22

第71号 平成 27年 10月 15日

発行:長野県飯島町議会

9月定例会 平成26年度決算審查

将来につながる事業を評価

課題は公共インフラ長寿命化などの将来負担

実質単年度収支*9574万円の黒字 単年度収支 5699万円の黒字

9月定例会は、8月31日から9月18日までの19日間開催されました。 本会議初日に平成27年度補正予算ほかを可決しました。

平成26年度一般会計・各特別会計、水道事業会計の決算および陳情は2つの常任委員会に分割付託し、それぞれの委員会で審査しました。 本会議最終日に全案件を全員一致で認定・可決しました。

一般質問には9人が立ち、町政をただしました。

* 実質単年度収支とは

その年度中に発生した赤字か黒字か(単年度収支)に貯蓄や借金の増減などを加味したもの。

単年度収支が赤字でも、借金の前倒し返済 や貯金した額を考慮すると実質黒字と判断 できる場合がある。また、黒字に見えていて も貯金を取り崩して運営していた場合など には、実質赤字の場合もある。

一般会計 歳入歳出ともに2年連続の増

歳入

49億4975万円

前年度対比

前年度対比

2億 6568万円 増

町税が前年度比2.5%、2年連続の増収となった一方、地方交付税全体は、前年度比1.9% の減収、国県支出金は大型事業実施により2億2906万円83%の大幅増となりました。

歳出

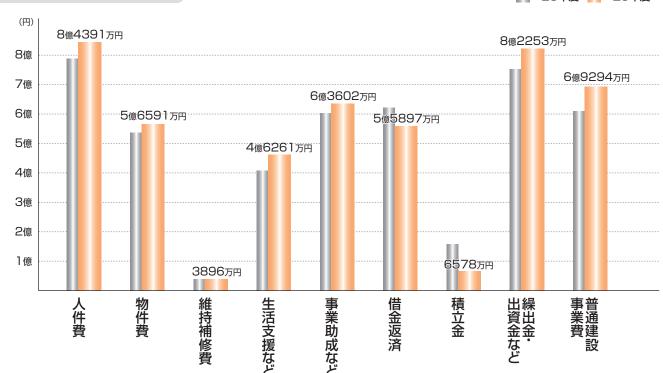
46億8766万円

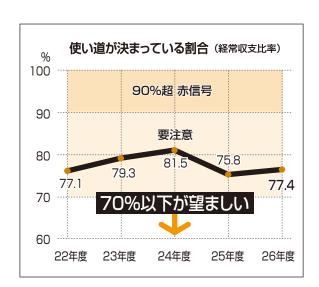
1億 2803万円 増

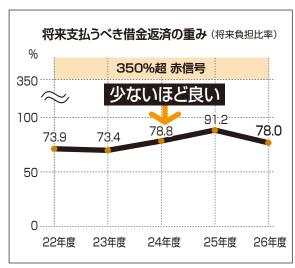
公債費全体は6959万円 11%減、積立金は9408万円 59%減。人件費は組織強化に向け4700万円 6%増、普通建設事業は地域介護・福祉空間整備事業などにより7506万円 12%の増となりました。

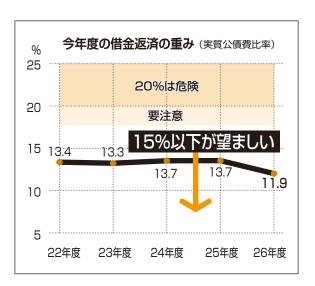
性質別決算額の推移グラフ

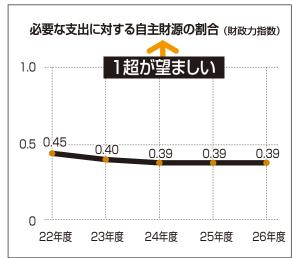
…25年度 …26年度











- ・経常収支比率は人件費・物件費・扶助費に充当した一般財源が増加したことなどにより前年比1.6 ポイント増で財政が硬直化している。
- ・将来負担比率は、借金の繰り上げ返済などにより前年比13.2ポイント改善している。
- ・診療所・障がい者地域活動支援センター・道の駅の新設など未来につながる事業を進めた決算で あったが、今後公共インフラの長寿命化などの財源確保が課題となり要注意。

平成26年度 会 計 別 決 算

	会計区分	歳入	歳 出	差引額	貯 金(基金)	借 金 (公債費)
	一般会計	49億4975万円	46億8766万円	2億6208万円	18億1668万円	49億6416万円
	国民健康保険	10億 689万円	9億6334万円	4355万円	1億9827万円	
特	後期高齢者医療	1億1675万円	1億1459万円	215万円		
別会	介護保険	10億2030万円	10億 509万円	1521万円	4119万円	
計	公共下水道事業	4億1073万円	3億8246万円	2827万円		40億9817万円
	農業集落排水事業	2億8861万円	2億6217万円	2643万円		21億3033万円
	水道事業	2億4850万円	3億3922万円	▲9072万円	1億 150万円	16億7249万円
	合 計	80億4156万円	77億5456万円	2億8699万円	21億5764万円	128億6515万円

(万円未満は切り捨て)

3

福祉増進の

一貫した姿勢を評価

一般会計

全員一致で認定

賛成 実質単年度収支9574万円の黒字を評価する。

歳入は、町税が増収となりアベノミクス効果があらわれつつある。

歳出は、公債費が11%減少 し、財政調整基金も目標の10 億円に達した。

普通建設事業では、地域介護・福祉空間整備事業や田切道の駅の農山漁村活性化プロジェクト支援交付金事業、防災関係のハード事業などが進んだ。

政策の基調として、町民の幸せ・安全安心のまちづくり、福祉増進が貫かれている。

これらの推進にあたっては、

国県の有利な財政支援を獲得し 厳しい町の財政を補い、次につ なげる幾多の政策課題の基盤整 備が進んだことを評価する。

今後共、第5次総合計画や地 方創生総合戦略など計画性をも った事業執行を期待する。

特別会計及び 水道事業会計

全員一致で認定

請願陳情審査結果				
内 容	提出者	付託	結 果	
飯島区新井用水水路整備事業採択を	飯島町四区連絡協議会	総務	採 択 賛成 11・反対 0	

ないものはない

離島からの挑戦 最後尾から最先端へ

議会全員協議会 7/6~7/8

合併せず「自立への道」を 選択し「財政再建団体」へ転 落の危機を乗り越えた、島根 県隠岐島海士町を全議員で視 察しました。

海士町は、日本海に浮かぶ 隠岐諸島の1つ中ノ島で周囲 89kmの小さな町です。本土 からフェリーで2~3時間か かります。

人口は2345人、平成16年 3月、生き残りをかけた「海 士町自立促進プラン」を策定 し、徹底した行財政改革を断 行しました。

三役・職員・議員の給与を 始めとしてさまざまな見直し をし、生き残るための守りの 戦略を実行しました。その結果、住民サービスをダウンすることなく黒字決算を続け、 財政事情は確実に改善しました。

講師の大江和彦地産地商課長は10年以上同じ職です。職員は適材適所に配置し定期的な人事異動はありません。職員は現場に机を置いて365日稼働し、積極的に民間事業を支援する「民から官へ」が特色です。

仕事を成し遂げるには「熱意・誠意・創意」の3つの心と意気込みが大事であるとのこと。

海士町が建設した水産加工

施設などを視察し島を離れました。

他に「阪神・淡路大震災記念 ・人と防災未来センター」を 見学しました。



公設のカキ加工場 ここにも全国からの移住者が

27年度補正予算を 全員賛成で可決

般会計総額 46億9182万円に

田切 道の駅をさらに充実 千人塚「紅葉園」を取得

主な補正財源

税収

· 固定資産税 4600万円

国から

1億401万円 · 普通地方交付税

・税番号制度システム整備補助

439万円

県から

農村地域防災減災事業

▲3050万円

・田切拠点受託事業トイレ分

6093万円

繰入金

· 財政調整基金 ▲3000万円

·公共施設等整備基金 ▲1000万円

· 地域福祉基金 ▲1584万円

• 高度情報化基金 ▲2650万円

繰越金

• 前年度繰越金 1億1452万円

主な使い道

· 建物購入費(紅葉園) 3838万円

・マイナンバー関連機器整備など

587万円

・町の駅改修補助ほか 268万円

• 高度情報化基金積立金 500万円

· 減債基金積立金 4000万円

·公共施設等整備基金積立金

4000万円

• 地域福祉基金積立金 3000万円

• 小水力発電適地調査業務委託

200万円

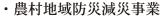
・農業再生協議会交付金 290万円

基金増額

1億1500万円

道路維持補修費増額 2000万円を

飯島駅前に 「町の駅 | 整備 268万円



▲3000万円

・農村活性化プロジェクト交付金事業 412万円

・鳥獣埋設用重機購入ほか108万円

· 道路維持補修費 2000万円

· 道路補修現物支給用材料費

170万円

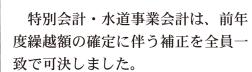
· 除雪機購入補助 120万円

・学校・家庭・地域連携事業

46万円

・土地開発公社補助金 3000万円

• 予備費 2092万円



国民健康保険

総額11億6643万円に

後期高齢者医療

総額1億1667万円に

介護保険

総額10億5429万円に

公共下水道

総額4億484万円に

農業集落排水

総額2億9038万円に

水道事業資本的支出

総額1億6950万円に



予算計上主義を評価

平成26年度飯島町各会計決算の分割付託分を審査し、全会計を全員一致 で認定すべきものとしました。

従来、町長権限で専決処分してきた内容を改革し、当初予算計上により 運営を透明にした姿勢を評価しました。

また町・県の事業を現地調査しました。

総括質疑

問 平成26年度専決処分の見 直しを大変評価するが。

町長 予算計上主義の原点に戻したもの。今後もこのようにしていきたい。

問 財調基金は目標の10億円 に達した。他の基金も目標設定 すべきでは。

町長 金額を決めるのではなく、 必要に応じ柔軟に対応していく。

問 公共インフラの保全を長期的な計画とすべきでは。

町長 必要と考えている。有利 な補助制度を組み合わせていく。

問 道路補修の要望達成率は 30%で、簡易な対応で凌いで いる。抜本的な改良も必要では ないか。

町長 建設事業は莫大な費用が かかるので、小手先の対応で凌 ぐこともある。基盤からの改良 は幹線道路から順次進めていく。

問 小規模農業者や女性グループの育成支援が重要だ。

町長 農産物を道の駅やマルシェへも出荷しており、ご指摘のとおりだ。高齢者の生きがいや健康づくりの面からも力を入れている。

賛 成 討 論

- ◆実質単年度収支も黒字で、バランスのとれた決算を評価する。
- ◆農地の集約化が進んでいるが、 「農地はみんなのもの」とし中 小農家を大切にしている姿勢を

評価する。

- ◆定住促進策が成果を挙げてい ることを評価する。
- ◆坊主平観光トイレが整備され 観光充実が期待できる。
- ◆公共下水道事業が適切に運営 されていることを評価する。

先進地を視察

「ごみゼロ」も楽しく

総務産業委員会 8/19~20

徳島県上勝町の廃校を利用 した「山の楽校」に宿泊し 「ごみゼロ」に挑戦する町を

視察研修しました。

上勝町は四国山脈の南東山地にあり、四国で最も人口も面積も小さな町。

様々なていたるでもあるさに上の木が形理を繋みりい「はたんなる」とに上の木が彩らすするがででもみずくではなみすくでもみずくでもみがいばでもがらした。」と

であり、煩雑なごみの分別も、 ごみステーションでわいわい 楽しくやることが秘訣かと感 じました。

その他、兵庫県北淡町の震 災記念館と吉野川第十堰を視 察しました。



分別して、使えるものを並べています

坊主平に水洗トイレ

平成26年度決算関連・27年度事業状況・陳情現場を調査しました。9/15

◇観光地トイレ

坊主平キャンプ場に水洗トイレが設置されました。

木造・平屋・面積16㎡の建 物で景観に配慮したトイレです。



きれいに使いましょう

◇バイパス15号

伊南バイパス15号橋脚及び駒ケ根側工事の進捗状況を視察しました。



駒ヶ根まであと一歩

補正予算審查

平成27年度一般会計補正 予算の分割付託分を審査し、 全員一致で可決すべきものと 決定しました。

質 疑

問 土地開発公社の補助金は必要か。

答 8200万円の赤字があり必 要。

問 高度情報化基金の積み立て 計画は。

答 実施計画で行っているが、 長期計画はない。今後は策定し たい。

替 成 討 論

全体に前向きの予算である。 土地開発公社補助金を専決でな く、補正対応したことを評価。

◇道の駅田切の里建設現場

基礎工事が始まりました。埋め土のため、 コンクリートの支柱50本を元の地盤まで打 ち込み、補強して基礎工事が進んでいます。



頑丈な基礎です

◇飯島新井用水路

飯島区内の最も重要な用水路。 通水後100余年を経過し、老朽 化が著しい水路の事業採択に係 る現場を視察しました。



法面崩落の恐れあり

採択

陳情 町へ

水路整備の事業採択を

陳

情

杳

提出者

飯島町四区連絡協議会会長(本郷区長) … 矢澤 義正氏

替成 4 反対 O

調│▮

飯島区新井用水水路整備に係る事業採択を求める。

賛成 崩落の危険性を感じる。大事な水路であり、上水道にも影響がある。早急な改修が必要である。

賛成 改修により、自然エネルギー活用も期待できる。

医師確保の動き始まる

平成26年度飯島町各会計決算の分割付託分を審査し、全会計を全員一致で認定 すべきものとしました。

また、決算関連事業の現地調査をしました。

総括質疑

問 引きこもり問題が深刻だ。 教育と福祉の連携が必要では。 町長 早い対応が必要である。 教育会議・福祉と共に対応。

問 知的障害者グループホーム 設置を行政が主導すべきでは。 町長 家族会や親愛の里・社協 にも声掛けを行っている。

問 循環バスの高齢者利用を無料にし、利用度を上げては。 町長 現段階では、タクシー券 との組合せで行う。

問 将来負担比率が県内69番目と高い、公共インフラの修繕などを見据え、負担率を減らすべきでは。

町長 住民要望とのバランスを 配慮して対応する。

問 実態に合わない活用をしている教員住宅を整理しては。 町長 整理する必要がある。 問 奨学金制度の利用者が増え 基金が不足した場合の対応は。 **町長** 基金を積み増す。

間 産休で保健師が不足しているが。

町長 臨時嘱託職員で対応しているが、保健師は住民評価も高い。募集しても応募がない状況。 看護大への働きかけも行っている。

問 将来を担う保育士の採用が 必要では。

町長 児童数の減少により正規 を増やせない。バランスを取り ながら採用していきたい。

問 行政評価が甘いのでは、成果で評価すべきではないか。

町長 成果も重要だが目標に対する取り組み経過を重視し判断。

問 国保の県一元化が決まっているが、負担増で医療を受けられない状況が心配。セーフティ

ーネットの強化を図るべきでは。 町長 国保税の軽減や短期証で 配慮。貸付制度もある。

賛 成 討 論

一般会計(分割付託分)

- ◆健全財政に配慮しながら、福祉・介護・子育で・医療医師確保などの取り組みを評価する。
- ◆地域と交流を図っている「や すらぎ」の取り組みは大変良い。

国保会計

◆先を見通して予防医療の努力 が行われていることを評価。

介護保険

◆「利用者の自立を支える」ことを念頭に、要介護卒業に向けた取り組みを評価する。

後期高齢者医療

◆保険料収納100%を評価。



医療介護健康づくり拠点(生協診療所)

「やすらぎ」 開園 1年

平成26年度決算審査に係る事業個所を視察しました。9/16

飯島町障がい者 地域活動支援センター

指定管理者

社会福祉法人親愛の里 指定期間

26年4月1日~5年間 この1年間の運営状況を視察

- ●開園後今年の2月には目標利用者数を達成、その後現在まで月100名以上の利用が続いている。
- ●ボランティアの協力も得られている。

飯島保育園

- ●ガラス飛散防止フィルムの貼り付け完成。早くもガラスの割れたとき破片が散らず効果があった。
- ●LED照明化完成で、曇りの日でも明るさが格段に改善された。LED効果で電気料が下がった。

飯島小学校

●トイレの改修

臭い・衛生面での改善がなされ、 快適な学校生活の環境が整った。 ●非常用放送設備の更新 非常の際や業務の連絡が確実に 放送できるようになった。



非常用放送設備

●モニターテレビやタブレット を活用した授業を見学。

子供たちはすぐなじむ



タブレットで授業

感じました。

ICT教育に向けた実証現場を

視察しました。子どもたちが馴

教師が使いこなせるか、これか

らの課題ですが、ICT化は教育

の現場にも着実に進んでいると

染んでいるように見えました。

平成27年度一般会計補正 予算の分割付託分を審査し、 全員一致で可決すべきもの と決定しました。

補正予算審查

質 疑

問 図書館歳出予算組み替えの 内容は。

答 図書館管理システムを上伊 那統一システムへ移行するため。

問 七小の雨漏り修繕は、既決 予算対応か。

答 雨漏りが止まっており、 様子見の状況。

問 中学校の事業補助金は、継続していくのか。

答 単年度事業だ。

替 成 討 論

図書館管理システムを上伊那 統一システムに移行することは、 住民の利便性の向上につながり 予算も安価となることを評価。

視聴率か 個性番組か

上伊那市町村議会議員研修 9/30

上伊那郡市の議員研修が辰 野町で開催されました。

元フジテレビのスポーツ局 長を務め、現在長野放送取締 役の船木正也氏の講演を聞き ました。 『全てのテレビ番組は、視聴率で評価される。地方のテレビ局は個性ある番組作りで 貢献するのが課題だ』と話されました。

ひとこと広場

小学校生や中学生が興味を 持つようないできなったらいいと 思いまな 飲島町についてクイズイグ式で たいることができ、面白かったです。 新聞なでで読むより、 分かりやすか、たです!

カラーを入れて方が見やすくでると思う。

東京省をの1歩谷区では同个生りでした一条例かい ていきもほか飲着町では作るかないないないます。

お詫び -

書類管理の不手際から、 3月号でお寄せいただいた クイズの回答や「ひとこ と」を紛失してしまいまし た。投稿頂いた皆さまに心 からお詫び申し上げますと 共に、お手数ですが事務局 までご連絡下さいますよう お願い申し上げます。今後 再発防止に努めます。

選挙を昭時

・立候補者の方の意見が伝わら かいと、どの人に投票したらいいか 分かりません。

伊南から世界へ

伊南市町村議員研修 7/17

今年は宮田村を会場に開催 されました。

「中小企業の生き方」と題して、宮田村商工会長 ㈱ティービーエム社長山田益氏の話を聞きました。

1980年タービンブレード 加工を開始し、2009年「グッドカンパニー大賞優秀企業 賞」を受賞しました。 現在に至るまでの企業経営 の思いやこれからの社会の見 方を自身の経験や先人・知人 の考えを引用し熱く語られま した。

特に『何もしなければ、何 も起きない』の言葉には力強 さを感じました。

村の2ヵ所を視察研修しま した。

①「うめっこらんど」

4月に運営開始。

学童保育・地域子育て支援 拠点・児童館の機能を有した 公設複合子育て支援施設。

②「オヒサマの森」

村の支援により自力で「有限会社わが家」が開設運営している、高齢者支援&地域活性化の複合施設。

飯島町から自然エネルギーの活用を提言 中部伊那議員研修 8/26

中部伊那4町村(飯島・松川・中川・大鹿)の議会議員研修が理事者同席の中、 松川町青年の家において、開催されました。

研究討議

4町村から合計10の意見が 提出され、全て全会一致で採択 されました。

これらを圏域の政策課題として提言書にまとめ、正副議長が 県へ要請行動を行うこととしま した。

当町議会からは、坂本紀子議 員が「太陽光発電施設建設にか かる環境保全対策を求める」浜田稔議員が「中部伊那地域の水力エネルギー活用に県の支援強化を求める」と題してそれぞれ意見発表を行い、多数の賛成討論を得て採択されました。



意見発表する当町議員

県副知事講演会

中島恵理副知事による「中部 伊那町村の"地域資源"を活用 した地方創生に向けて」と題し た講演がありました。

参加議員から地域資源を生か した取り組みに対する質問と県 への支援要請が多数出されまし た。

町を元気にする声がいっぱい

いいちゃん懇談会 9/2

いいちゃんまちづくり連絡協議会と町議会が3つのテーマで話し合いました。

〈出された主な意見〉

- 1. 飯島町をもっと元気に
- ◇イベント・観光で元気にしよ う
- ◇企業誘致や農林業など働く場 の確保で元気にしよう
 - ・若い人や子連れでも働き生 活できる環境整備
- ◇生活環境の整備
 - ・買い物や子連れで気軽に入 れる飲食店を
 - ・出産子育てに財政支援を
- ◇町づくりの核
 - ・若い人の参加と協力を
 - ・高齢者と若者の交流の力で
- 2. こんな町になったらいいな
- ◇イベント・観光・自然環境
 - ・今の自然環境を次の世代に 引き継げる町
 - 人が行き交いイベントに多 くの人が参加する町

◇生活の基盤を強く

- ・自然を守り生かしながら収 益を上げる町
- ◇生活環境
 - ・花いっぱいの町
 - ・自宅で最後まで暮らせる町
 - ・専門医(整形・耳鼻科)の充 実した町
 - ・子どもの声が響き、遊ぶ姿 の見える町

3. いいちゃん文化祭

映画上映について(フィルム 代の値上げ要請で運営困難)

- ・配給会社との価格交渉を
- デジタル対応のプロジェクタ 更新を

参加者全員が



4つの分散会で

情報を簡潔に美しく際立たせる

議会広報編集委員会研修 9/4

編集デザインを学ぶ

議会広報委員会は、東京で編 集デザインのセミナーに参加し ました。

枠から飛び出し「いいじまま ち議会だより」の編集を全く違 う目で見つめ直したいと、編集 デザインなどを手がける㈱コン セントから指導と診断を受けま した。



セミナー風景

情報をどんなデザインに乗せ て届けるか?情報の中に感動を 発見し、簡潔に美しく際立たせ るか? …これまでの研修とは 全く違うカルチャー・ショック の連続でした。

研修を受けて「いいじままち 議会だより」のデザインを今 71号から大きく変更しました。 率直なご意見をお寄せください。

11

高坂町長の退任表明を受けて

町議会議長 松下寿雄

9月定例会本会議で、高坂町 長が今任期での退任を表明され、 議会は大きな驚きを持って受け 止めました。

高坂町長に対し、議会は必要なことは遠慮無く指摘・提案・ 要求をしてきました。

町長はそれぞれに真摯に向き合い、行政の立場で取捨選択するという、適切な緊張関係の中で町の発展に努めてこられました。

高坂町長の3期12年間に亘る 誠実な行政運営に改めて敬意を 表するとともに、その業績の継 承発展に、議会としても力を尽 くすものです。

議会人は 町長と対峙できる 専門性を

県町村議員研修 7/23

松本市で、議員研修が開催され、全 議員が参加しました。

毎日新聞論説委員人羅格氏の「地方 創生の展望と議会の役割」及び明治大 学名誉教授中邨晃氏の「地方議会の機 能と改革ーこれからの立法部」の講演 から学びました。

一般質問



ここが聞きたい

9議員が質問

久保島 巖	町長選 出馬の意向は ······ P13
北沢 正文	非核平和宣言 町の取り組みは ······ P14
折 山 誠	水道事業 中川村との統合を ········· P15
竹沢 秀幸	医師の確保 腰弁当で ······ P16
坂本 紀子	協働のまちづくり 住民意識は進んだか ······· P17
中村 明美	ヘルスケアポイント 若者の関心度アップ P18
本 多 昇	ずさんな工事 町は負担すべきか ······ P19
三浦寿美子	在宅医療化 どう対応する ······ P20
浜 田 稔	防災減災 訓練か行事か······ P21

「一般質問」とは

行財政にわたる議員主導による政策の議論です。(通告順)

出馬の意向は

町長選

今任期で退任 町長



久保島 巖

11月の町長選に高坂町長 は出馬しないと9月8日朝刊で 報道された。真意はどうか。

町長 町政の現状と課題、自分 の健康状態、家庭の事情など 様々な考えを巡らしてきた。熟 慮を重ねた結果、3期12年を 節目として今任期満了をもって 退任させて頂く決意をした。

過去3回の選挙のうち2回 が無投票だった。それに対する 危惧感からか、新人の出馬意向 が表明されている。これをどう 捉えているか。

基づく選挙による選任、投票に よる政治参加である。住民本位 の実現可能な政策、持続可能な 政策に基づいた議論で、選挙が 行われることを期待する。

町長 民主主義の原点は政策に

間 伊南バイパスも高坂町長の 働きかけで平成30年開通を取 り付けた。2つ目は不可能とさ れた町内道の駅「田切の里」も 町長の粘り腰で勝ち取るなど、 多くの業績を上げてきた。

3期12年を振り返り、やり 残したことはないのか。人心を 一新する中で、それらを成し遂 げるべく考え直してもらいたい がどうか。

町長 お言葉はありがたいが、 受け止めて頂きたい。反省や残 された課題などを整理して、私 の思いを伝えるような機会を設 けたい。

ホームページの改訂を

定住促進を進める上で情報 発信の要は町のホームページだ。 見にくい、分かりづらいなどの クレームがある。早急に見直し すべく、今年度職員を配置した が進んでいるようには見えない。 クリエイティブな仕事だから専 任させるべきだ。スケジュール はどうか。またWi-Fiも設置し、 アピールポイントに。

町長 ホームページは最重要と 認識しており、速やかに対応し たい。

総務課長 運用形態が伊南3市 町村とCEKの共同で行ってお り、新たな構築・運用は難しい 状態。既存の中で、できる限り カスタマイズできる方法を取り 入れリニューアルして行く。年 度内にイメージアップを目指し て取り組む。Wi-Fiは国の推進 もあるので、計画的に進めてい <.

地域おこし協力隊に自由を

地域おこし協力隊は定住促 進の1つ。臨時職員のような勤 務状態では、3年後の自立に向 けた活動ができない。もう任期 の半分が過ぎ、定住に結びつか ない懸念がある。意思疎通をは かり、早急に自由度を高める必 要がある。

町長 募集要項に明記し、それ ぞれの活動内容に意欲のある方 を採用した。定住につながるよ うに相談に乗っていきたい。

企画政策課長 担当や課長・係 長を含め聞き取りを行い、本人 の意向に沿うように調整してい きたい。

〔以上3件質問〕





北沢 正文

非核 平和宣言

町の取り組みは

黙とうを呼びかける

町

長

問 広島・長崎の平和祈念式典 と合わせ、町民に黙とうを呼び かける検討をしたか。

町長 今後は平和祈念式典と全 国戦没者追悼式に合わせ、防災 無線で黙とうを呼びかける。ま た、非核平和への意識を深めて いく。

行政の横の連携を

問 行政の横の連携で施策効果 を高めるべきでは。

町長 効率的な行政運営のためには、縦割りの弊害排除が必要。 後期基本計画では、横の連携 強化に狙いを定めてまとめていきたい。

問 基本計画では、横の連携を取る部分をそれぞれの項目に再掲し、分かりやすくしたらどうか。

町長 再掲する前提で、協議を 進めていく。

間 暮らしの便利帳を有効活用 しているか。

町長 町の情報発信誌として良いものが出来上がったと思っている。町民に活用してもらいたいし、職員も活用するようにしていきたい。

後期基本計画 課題と施策は

問 「食育・地産地消・健康寿命・食農」の今日的課題がなぜ素々案に示されていないのか。

町長 重点的に進めて行く必要 のあるジャンルとして、整理し ていきたい。

教育長 食育は横の連携で進める。次世代を担う人づくりの主要施策と位置付けている。

産業振興課長 3点を喫緊の重点課題として掲げた。地産地消・食農の取り組みは「地域複合営農への道パートIV」の見直

しの中で施策を掲げていきたい。 健康福祉課長 健康寿命は、健 康推進事業に位置づけ、来年度 からの新しい健康づくり計画に 重点課題で取り上げる。

問 計画期間中に伊南バイパスの全線開通が予定されている。 開通後の姿が計画からは見えないが、町長の思いはどうか。

町長 将来を見据えて伊那谷全体の方向付けに沿い、町の思いを基本計画の中に入れていくべきだと思っている。

問 子どもの遊び場所がほしい との要望があるが、町の児童遊 園地補助制度は活用されている か。

教育長 別の補助制度も合わせると、児童遊園にかかわる事業は約6百万円の実績がある。制度の宣伝不足の面もある。補助金の見直しは子育て制度全体の中で考えたい。

問 基本計画の5年間で進める べき目標施策実現のため、補助 金制度の全般的見直しを進めた らどうか。たとえば時限的措置 など。

企画政策課長 今行う予定はないが、将来検討したい。

〔以上3件質問〕



設置された児童遊園地

水道事業

中川村との統合を

後期計画で検討 町長



折山 誠

問 当町の水道料金は、県下で高い方から6番目、上伊那では最高額となっている。その上、町水道ビジョンでは、人口減少などに伴う経営難によりさらなる値上げも必要としている。

こうした水道運営の現状をど う受け止めるか。

町長 当町は、百間なぎ流域与 田切川から取水しており、水の 濁りを除去する経費が多額。厳 しい中で努力を重ね、5年あま り料金を据え置いてきたことを 評価願いたい。

問 樽ヶ沢浄水場は給水人口 11000人に対し9648人、1 日最大給水量5700㎡の浄水能 力に対し実績は2448㎡である。

供給能力の半分に満たない販売だ。

以前に水不足に悩む中川村と の統合による安定経営を提案し たが、その後の経過は。

町長 平成26年に策定された 中川村水道ビジョンでは、針ケ 平や横前地籍の一部地域は、将 来的に飯島町からの受水を検討 するとしている。これまで3回 事務レベルの協議を重ねた。

問 水道料金が高ければ安くする努力を、人口減少で経営が厳しくなるのなら近隣との統合を検討すべきでは。後期5カ年計画で、中川村との事業統合の研

究検討を明確に位置づけること を求めるが。

町長 経営効率を高め、料金減額の選択肢として統合も捉えていく必要がある。審議会を経て後期計画に位置付ける。

問 自治会など未加入者の、防 災訓練および有事における自治 会との関わり方を、後期計画で はどう考えるか。

町長 当町未加入者の状況は、 施設入所者などを除くと約500 世帯である。各地域の訓練には、 自主的に参加いただきたい。

総務課長 災害時の対応は全世帯に配布したハザードマップ・防災ガイドブックをベースに行動いただく。訓練などの際には加入未加入にかかわらず、互いに声を掛け合い一緒に参加していただきたい。

問 鳥羽市との災害相互応援協

定後、取り組みと 交流はどうなって いるか。

後期計画ではど のように位置付け るか。

町長 平成24年の協定調印後は、昨年オープンした海産物センター鳥羽マルシェで果物・野菜を販売するな

ど、交流が頻繁になってきた。 さらに今度できる「田切道の 駅」などで鳥羽の豊富な海産物 を販売する構想もある。今後実 質的な友好提携を結んでいきた い。後期計画に交流の発展を明 記し施策を進める。

問 『与田切公園の「越百の水」を「水の駅」として整備し町民の憩いの場や観光客誘致につなげたらどうか』という声があった。車で入り交流できる設備を充足し、駅としての機能整備を後期計画に位置付けることを提案するが。

町長 大賛成だ。100歳を超える水と「水の駅」というネーミングの合体は面白い発想だ。町の情報発信の要素として捉え、後期計画に加え進めたい。

〔以上1件質問〕



気になる水道料金



竹沢秀幸

医師の確保

腰弁当で

マニュアルで全国展開

町

長

問 町内開業医の現状をどう捉えているか。

町長 現在4医院が開業しており、町民の健康の維持や疾病の 重症化予防で、地域医療に貢献 している。

問 高齢な七久保診療所医師の 後継者など、医師確保にどう取 り組むのか。

町長 先生の人脈を頼りに後継 者確保に努めている。引き続き 町の大変重要な課題として捉え ている。

問 新たに作成した「医師確保 マニュアル」の内容は。

町長 「開業医向け飯島町医療 圏分析資料」という名称でコン サルに委託し作成した。開業を お考えの先生が欲しいであろう 情報を網羅した、総合的な資料 になっている。

これをもって全国に発信し、 お医者さんに来ていただくよう 取り組む。

来る11月1日に医院開業個別相談会を飯島町で開催する。

問 腰弁当で医師確保を。

町長 医師が閲覧するインター ネットの活用や「医療タイムス」

> への情報掲載を行う。 また信州大学付属病院 長などとのパイプを生 かし、足を運んで医師 確保に努める。

問 飯島町出身の医師をめざす 人をどう育てるのか。

町長 医者の卵といっては失礼 だが、医学生に対する今からの アタックも必要だ。

大型バス更新を

問 現在の大型バスは、導入後年数も経過し、走行距離も多く、故障もある。実施計画に基づき、新町発足60周年冠事業として、リース方式を前提に平成28年度に更新することを提案する。

町長 高速道路を走行すると左右に振れると、運転手からの報告がある。床に穴が開きつつある。危険な状態であり、28年度購入するよう申し送る。

災害時用 3色旗配布を

問 町防災訓練で、避難時に各家庭玄関に白タオルを表示した ことは良かった。

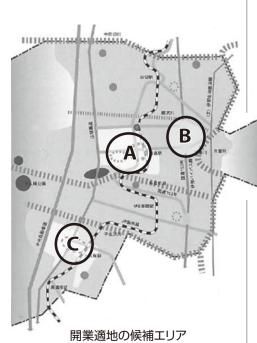
災害時(固定電話・携帯電話も使えない前提)の安否確認のため、3色の旗を全戸配布したらどうか。ポリエステル製のA3版サイズの木の棒を付けたものを提案するが。

- ・青=自宅以外の安全な場所に 避難中
- ・黄色=自宅内で避難中
- ・赤=救助が必要

町長 町では白タオルで避難確認を推奨している。

提案の3色旗で安否の全容を 把握するということも含めて研 究する。

〔以上3件質問〕



協働の まちづくり

住民意識は進んだか

まだまだ不十分 町長



坂本 紀子

問 行政も住民も共に汗を流してまちづくりに努めたこの10年だった。協働のまちづくりを更に浸透させるため、基本構想審議会の検証シートを住民に外部評価してもらう仕組みづくりを提案するが。

町長 検証シートは、前期5年 の各種の事業状況をまとめたも ので、膨大な量だ。今年外部評 価を始めたばかりであり、住民 満足度調査・事務事業の内部評 価と共に、精度を高めながら行 政評価制度を確立したい。

問 現在行われている基本構想 審議会では人数が多く、時間に せかされて深い論議に至らない。 分野ごと1チーム5~6人で2 時間とし、委員の職業により夜 の会議も考える。委員には若 者・子育て世代・高齢者を入れ る。計画立案だけでなく、2年 後に検証する仕事も同じ委員が 行うことを提案する。

町長 前回の「若者は昼間は仕事、高齢者は夜は無理」という 反省により、今回の委員の人選 と会議の方法が決まった。進捗 状況は職員が毎年1回報告して いる。

企画政策課長 今回は無理なの で、5年後に第6次計画を作る 時、参考にしたい。 問 報告のみでなく、意見を聞いて実行部隊に反映してほしい。 町長 今後の課題としたい。

問 自治会・耕地での後期基本 計画素々案の住民反応はどうだったのか。出席人数は。

町長 8月に1ヵ月かけて42の 耕地・自治会を回り、出席者は 1252人。平成22年より30人増 えた。

関心は、人口減少問題・定住 促進・身近で買い物ができな い・雇用の確保・公共交通・自 治会のあり方・福祉・観光など。 多くの質問や意見をもらった。

問 まちづくりには、自治会未加入者にも関わってほしい。転入者の意見を聞く会や地元住民との交流会を企画しては。

町長 大変重要と思っている。 10月12日に「ご縁を大事にす る」という意味の「飯島大縁会」 と「小縁会」を行う。季節ごとの 交流や体験・情報交換を組み合 わせ、地域住民の交流拡大によ る町の活性化を目指したい。ま た、これを通じて自治会加入や 防災も考えてもらいたい。

問 視察で行った島根県海士町・徳島県上勝町は限界集落に近い町。どちらも活発な職員と、共に頑張ろうとする住民の積極的な姿に感動した。

自立を選んだ当町の意識改革は進んできたと思うか。

町長 協働のまちづくり事業補助金の申請件数が増え、地域づくり委員会の設置、東日本大震災の影響などで少しずつ住民意識は変わってきている。

しかし、まだまだ不十分。自 分の地域は自ら切り開くという 強い意識がないと協働のまちづ くりはできない。

〔以上1件質問〕



楽しい小縁会



中村明美

ヘルスケア ポイント

健

くり

計

画

町

長

若者の関心度アップを

特定検診受診率アップへの取り 組みや病気・介護予防・各種相 談など行っている。各事業を通 して、町民の健康管理に対する 関心の程度を把握しているか。 町長 町民の予防対策への関心 は格段に向上してきたと思う。 国保の特定検診・各種がん検診 など全国・県下に比べ受診率が

問 当町の健康促進事業では、

また各地区健康教室の介護予防出前講座は出席率が高く、健康長寿につながっていけばと思う。第5次総合計画のアンケートでも、全年代の70%以上が保

高く、町の誇りである。

健事業充実を重要と答え、健康 意識の高さがうかがえる。

一方、特定検診受診率が低く 心配している。元気なうちは特 定検診受診に消極的でどう誘導 していくか、特に若い人への啓 発が必要である。

また医療費では、外来が安く 入院が高いことで、悪化してか ら医者に飛び込む傾向もあり、 問題点と捉えている。

この試みは、若年層の特定検診率と町事業に対する関心度アップにつながる。医療費の費用対効果改善も期待できる。この制度を次年度から活用し、町民の健康寿命長寿化に取り組むべきでは。

健康福祉課長 健康長寿を目指す町の有力な手段として研究したい。また来年度策定の「健康づくり計画」の中でも検討していきたい。

問 2020年の東 京オリンピックを 起爆剤に、町民の運動習慣と健 康管理の推進事業に取り組んで は。

教育長 健康づくり・健康寿命を延ばす運動環境を更に整えていきたい。提案のように「さあ皆さんこの日、この週は運動をやりましょう」という内容で進めていきたいと考えている。

未加入者の防災対策は

問 今回改訂された「防災ブック」には『地域ぐるみで防災対策を』とある。耕地・自治会未加入者も防災訓練に参加し、地元の避難所に行けるようにすべきだが、そのような現状にない。未加入者も自主防災会には加入し、訓練や災害時には一緒に行動すべき。訓練から徐々に地域に溶け込めるよう、町がもっと積極的に関わるべきだが。

町長 提案は理解できるが現実は厳しい。未加入者も共に暮らす責任・義務も感じてもらう。 耕地自治会も包容力を持って融和を図っていけば、必ず一体感が生まれてくる。そのような努力を、機会あるごとに重ねていく以外にない。

〔以上2件質問〕



貯筋教室

ずさんな 工事

町は負担すべきか

負担軽減の運動を展開 町長



本多 昇

問 町には中央道の跨道橋が 26カ所あり、管理しているの は道路橋12カ所、水路橋13カ 所と中川村の林道1カ所である。

工事費は3516万円、町の負担は1636万円47%も負担している。

過去のずさんな工事による修繕は、すべて国とネクスコで実施すべきでは。

町長 国から、高度成長期に建設された橋りょう長寿命化対策が求められて、有利な事業方式を取り入れ現在進めている。

建設当時の欠陥工事・橋数が 多い地籍の特殊事情を考慮して ほしいと、再三申入れている。

負担軽減の運動を大々的に展 開していく。 も合致している。

財政負担の見通しと基金との バランスを考え、積み立てるば かりでなく、住民要望を考慮し ながら有効活用を併せて検討。

問 ふるさと納税額は1637万円と前年の8.5倍の大幅な増加となった。お礼品の送付時に、お礼の言葉も入れず送っていると聞いている。

お礼に対してどのような対応 を取っているのか。

町長 寄付金の受領証明書とと もに、私の直筆の名前の入った お礼状を送っている。

問 ふるさと納税に提案する。

・お礼品にはお礼の言葉ととも

に、アンケート付 返信用はがきを入 れて返礼する。

・年1回ではなく 複数回納税できる ようにする。

町長 アンケート は早速対応する。 納税は何回もでき るが、パンフレッ

トでは年1回という誤解を与える表現なので削除する。



ずさんな工事 国の責任で

問 専決補正の見直しによって 整合性のある決算となった。

実質収支1億7452万円の黒字、財政調整基金は10億円となった。基金積立の今後は。

町長 標準財政規模の30%を 最低の目安とする。県の指導と

行政運営から行政経営へ

問 行財政改革プランで目指している行政経営とは何か。

町長 住民満足度をその成果として求めることである。

問 運営から経営に転換した効果は疑問だ。行政運営の範囲だ。 転換したことによる効果は。

町長 明確には申上げにくい。 職員数削減など量的改革から、 成果重視の行政経営へ軸足を置 いて取り組んだ。

事務事業の見直し、各種事業 に対する選択と集中で徹底した 無駄の削減、財務諸表の作成、 人事評価制度の導入などがある。

問 今ある資源で成果を出しつ つ、町の将来を考え、先行した 事業を行政が主導的に行う。そ のことで自主財源の町税を増す ことが行政経営と考える。

「民間でできることは民間で」ではなく、民の仕事を官で やる意気込みが大切だが。

町長 自主財源をいかに確保していくか。企業誘致・定住促進・若者定住もそこから出てくる果実を期待しながら、先行投資など施策を講じていく。これにはリスクもあるが、全力で取り組めば必ず成果は見えてくる。

28年度以降の施策にも、自 主財源の確保を主眼とした町の 方向付けをしていく。

〔以上2件質問〕



三浦 寿美子

在宅医療化

治

矢

と連携で体

制

な

町

長

どう対応する

間 地域包括ケアシステムの本格実施が平成29年度に迫っている。取り組みの状況は。

町長 実施に向け準備検討している。生活機能の予防・改善事業、認知症予防や見守りネットワークづくりを進めていく。ま

た、高齢者の社会参加事業も検 討し、地域支援コーディネータ の設置も考えている。

予防を重点にしたサービスを 創出するため、委託を含めた説 明や協議で町内事業者との連携 の準備をしていく。

問 住民の理解と協力が必要だが、住民と関わる具体的な計画はあるか。

健康福祉課長 生活支援コーディネータの役割を地域の皆さんに担ってもらおうと考えている。 28年度は4地区を中心に説明を行い、基盤をつくりたい。

問 今後は法律で在宅医療に重 点が置かれる制度になる。

現状では、高齢者やひとり暮らしの人が早期退院し、自宅で 生活することは大変厳しい医療 環境である。問題は無いのか。

町長 訪問看護・訪問介護の事業所が核となり担ってもらうことになる。訪問看護は24時間対応のため主治医との連携が重要になる。

健康福祉課長 今の訪問看護体制は不十分と認識している。退院後1カ月ほどで亡くなる人や療養病床のある病院に転院する人もいる。問題がある。

昭和病院に地域包括ケア病棟 ができるが、入院後最長60日 で在宅となる。

上伊那の地域包括医療協議会では、在宅医療の推進を図る部会を設置する方向である。その経過を見守りながら在宅医療の体制を作っていきたい。

間 「信州保険医療計画」では、 上伊那の病床数は現在の1292 床から43床削減とある。しか し、全国平均からは2000床有 しても良い地域であり、医師は 200人も不足している。

上伊那全体の医療の問題をど う考えるか。

町長 元々医療環境の大変厳しい地域なので、病床数の削減は本末転倒である。国や県は、まず医師確保で需要に応え、圏域的に病床数を決めていくべきだ。医師確保が前提であり、強く要望していく。

住宅リフォーム 補助継続を

問 平成23年度から実施して きた住宅リフォーム助成制度の 利用状況と波及効果は。

町長 補助金総額1383万円に 対して、総事業費4億2195万 円となった。町内建設業者の支 えになっており効果は表れてい る。

問 補助金制度の継続を求める 要望が商工会からある。消費税 の増税、物価の上昇で工事費が 高くなっている。制度を継続し 補助枠を拡大してはどうか。

町長 町民ニーズと町内業者の 受注拡大の側面もあり継続して 行きたい。予算編成のなかで検 討したい。 〔以上2件質問〕



包括ケア病棟建設中の昭和病院

防災減災

訓練か行事か

より実践的にしたい 町長



浜田 稔

問 今の防災訓練は助かった人達による事後活動が中心だ。しかし、阪神淡路大震災では9割が家の中で亡くなった。

家庭での減災に向けた日頃の 取り組みこそが重要なのに、個 人任せではないか。

町長 現状は災害後の対応を訓練しているが、家屋内の安全対策や備蓄など減災に向けた活動が重要と認識している。「防災ガイドブック」を更新したので、今年の訓練で学習会を実施したところもある。出前講座も地域で活用してほしい。

問 例年の防災訓練には実際と かけ離れた行事的要素が多い。

ある防災研修会で「地域の全員が集会所に避難できれば 100点だ」と学んだ。実際、 耕地の実情を調べると、要支援 者や高齢者が2割で、昼間動け る住民も2割しかいない。高齢者の避難を支えるのが精一杯だ。 訓練を安否確認と避難・通報に 絞るべきでは。

町長 最近の災害報道を見ると、 想定外の事態への対応能力も求 められる。より地域の実情にあ った訓練のあり方を考えていき たい。

町内産業への支援拡大を

問 各種の展示会は新たな商談の機会を広げるものだが、町の 支援の実績や効果は。

町長 出店料を基本に総額50万円の補助金を支援している。 毎年4~6社が出店しており、 継続することで攻めの体質への 効果も現れている。

問 出店は力のある企業に限られているのではないか。展示会

の視察だけでも生きた業界情報 が得られ、経営強化に繋がる。 支援の枠を拡大すべきでは。

町長 必要に応じ補正予算でも 対応してきた。意欲的な企業へ の支援はもちろん、食品や農業 などへの業種拡大も視野に予算 化したい。

問 地場産業は地域経済の循環 ポンプであり、雇用を守って新 しい成長の芽も育てる。

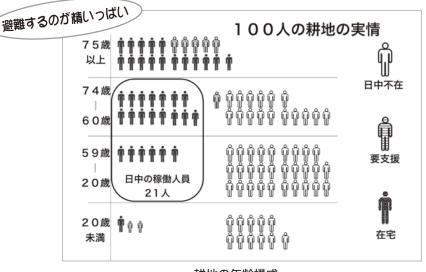
地域産業の一部門である建設 業は、最近受注が減っていると 聞く。町の長期的なインフラ整 備に繋がるような公共事業を拡 大してはどうか。

町長 公共事業の入札適正化法 の下で地元が受注できないとい う悩みを痛感している。経費節 減を基本としつつも、透明性・ 公平性のルールの許す範囲で町 内への発注に努めている。

問 公共事業以外でも、単価競争だけにとらわれず、経済の町内循環のメリットを考えて発注すべきでは。

会計管理者 可能な限り町内への発注に努めている。役場庁舎などで使う物品の主要43品目は、町内と上伊那の5社で入札。使用量の多い紙類などは町内業者が例年参加している。

〔以上2件質問〕



耕地の年齢構成

町民の声を議会へ

このページは町民の皆さんに取材協力 をお願いし、町政や議会への意見や感想 を掲載しています。

今回は、「信州招福まちおこし隊」の 小林淳一さんに登場していただきます。

招福ひょっとこ

お祭り好きが集まって「元 気な町の元気な祭り」に育て よう!

そんな意気込みで同年生が集う。真っ赤なはっぴを身にまとい白のフンドシ、火男(ひょっとこ)の面を付ける。単純でユーモラスでちょっぴりエロティックな踊りです。

始めたのは昨年の10月。 まだ発足一周年を迎えてい ない若~いグループです。

私たちの活動は地味ですが、この踊りはだれで楽しい、見て面白い。この奇が、は関係の『輪』を少しずつな関係の『輪』を少しずって、この町の元気な祭りに育てたいと願っております。

広小路に500人くらいのひょっとこが飛び跳ねる雄姿 をみんなでイメージしてみ てください。 3歳から93歳



ただいま仲間募集中

只今ピーアール中

今現在、私たちの存在を 町民の皆様に認めて頂く活 動を一生懸命やらせていた だいております。

石楠花苑などのデイサービスへの慰問・コスモ市でのステージ発表・行燈市への参加・ふれあい広場でのステージ発表・町からの依頼への対応等々。

只今「ひょっとこ」踊り希

望者募集中です。

3歳以上93歳まで、男女 は問いません。まだまだ小 さいグループですが、デッ カイ夢に向かって張り切っ て進んでおります。

町と議会に望む事

わが町を元気にしようと活動しているサークルはいくつもあります。しかしその活動は点であり、線や面になっていません。

向かっている方向は同じなのに、個々バラバラで自己満足に終わっている気がします。

農業に目を向ければ、補助金に頼らない米作り。道の駅や直売所の需要を満たすだけの野菜や果物生産。

さて、どうしましょうか。 少子化なら元気なお年寄り を増やして元気な町にしま しょうよ!

議会だより クイブ



誌面が71号で、たて書きから〇〇書きへ。 〇〇に入る文字は何でしょう。



正解者5名様にいいちゃん商品券進呈

(締切は11/30、発表は発送をもって代えさせていただきます)



編集後記

突然ですが、本号から誌面を横書き に変更しました(理由は p11)。

なお、投稿の管理に不手際があり、 お詫びします(p10)。

発行責任者 議長 松下寿雄 編 集 委 員 ◎浜田 ○橋場

本多・北沢・折山・竹沢

あなたの声を議会だよりに ☎0265 (86) 3111 内線230 FAX.86-4395 e-mail gikai@town.iijima.lg.jp